

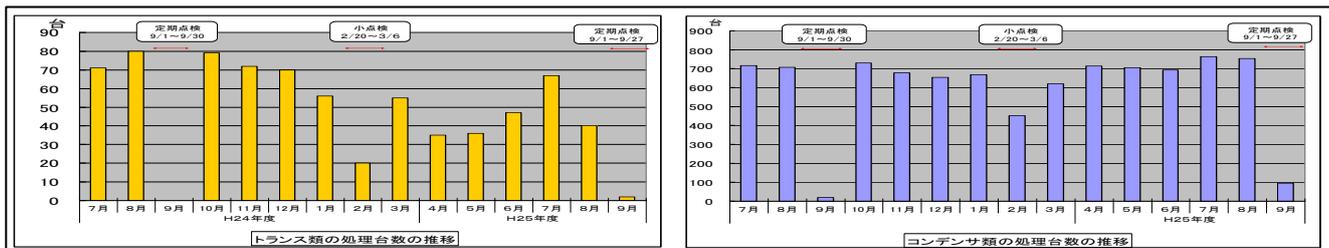


北海道PCB廃棄物処理事業だより (No.21)

◎ PCB廃棄物の処理状況について

平成24年7月から25年9月までのトランス類・コンデンサ類の処理状況(抜油ベース)は次のグラフのとおりです。

この間、トランス類910台、コンデンサ類11,016台を処理し、平成20年5月の操業開始以来累計ではトランス類2,760台、コンデンサ類31,486台となっています



◎ 前号以降のトピックス

- 8月30日 特別管理産業廃棄物処分量の事業範囲変更許可
- 9月 9日 総合防災訓練
- 10月 9日 増設施設操業式

主なトピックスの概要

● 北海道PCB廃棄物処理施設 増設施設操業式

10月9日、環境省、北海道、室蘭市のほか、商工会議所、地元町会・企業、施工会社等から約60名の方にご出席頂き、北海道事業所の増設施設の開業式を開催致し、JESCO矢尾板康夫社長から、安全確実な処理と情報公開に努め、室蘭から地球規模の環境保全の一翼を担いたいという抱負を述べさせて頂きました。

また、青山室蘭市長からは地元との信頼関係に基づく環境保全事業としての役割に期待する旨の、また、塚本環境省産業廃棄物対策課長からは地元関係者に対して事業へのご理解とご協力を求める旨のご挨拶を頂きました。

このほか、増設事業の概要及び経過報告、矢尾板社長より施工会社への感謝状贈呈、最後に関係者13名によるテープカットを行い本格操業を祝いました。

出席者にはこの後、増設施設の見学者通路より前処理作業室での詰替作業の様子やドラム缶に詰めたPCB汚染物を缶ごと処理するプラズマ溶融炉の稼働状況などをご視察頂き、関係者一同、増設施設についてもこれまでと同様に重大事故の防止に努め、安全安定操業を進めていくことの決意を新たにいたしました。



関係者によるテープカットにて操業を祝う



増設施設の視察

◎ 各種会議開催状況

○ 監視円卓会議（事務局北海道、室蘭市）

回数	開催年月日	主な内容
第29回	平成25年 7月31日	事業の進捗状況、増設事業、今後のPCB廃棄物の処理推進検討

◎ 増設事業の進捗状況について

10月9日に操業式を開催した増設施設事業は、平成23年12月に着工して以来、工事・試運転を続け、施設の処理性能及び安全性の確認を行ってまいりました。

本年6月、7月にPCB廃棄物を使用して施設の性能試験を実施し、

- ・確実にPCBを分解・無害化できること
- ・排気が適切に処理されていること
- ・所定の処理能力が出ていること
- ・作業従事者の安全・衛生が確保されていること

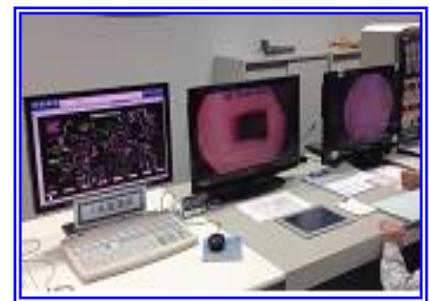
等を確認しました。

その後、8月に行政の廃棄物処理法に基づく使用前検査を受検し、検査合格後8月30日に処分業の変更許可を頂き、9月9日には初荷（安定器等約3t）を受け入れて、操業を開始しました。プラズマ溶融設備による分解処理は、まずプラズマ溶融炉1炉での処理を11日に開始し、操業式が行われた10月9日にはプラズマ溶融炉2炉による本格操業に入りました。

今後はこれまでの当初施設事業や他事業所の実績と知見を十分に活かしながら、安全・安心・確実な処理を進めてまいります。



初荷の様子



中央制御室での溶融分解の監視

◎ 見学の状況

北海道PCB廃棄物処理施設では、PCBに関する情報を積極的に公開するために、PCB処理情報センターを設置するとともに、処理施設に見学者ルートを設定しています。

※処理施設の見学及び団体で処理情報センターの見学を希望される場合は[電話] 0143-23-7015へ

H19. 10. 19～H25. 9月末 現在

年度	見学者数	地域別内訳		
		室蘭地域	道内	道外
23年度まで	6,739人	2,298人	2,858人	1,583人
24年度（～3月末）	908人	417人	292人	199人
25年度（～9月末）	699人	294人	203人	202人
合計	8,346人	3,009人	3,353人	1,984人

連絡先



日本環境安全事業株式会社北海道事業所 〒050-0087 北海道室蘭市仲町14番地7
 [代表] 0143-22-3111 [営業] 0143-23-7007・7008 [営業東京事務所] 03-5765-1197

PCB処理情報センター [開館日] 月～金 9:00～16:30 (祝日は除く)
 〒051-0001 北海道室蘭市御崎町1丁目9番地8 [電話] 0143-23-7015



[北海道事業HP] <http://www.iesconet.co.jp/facility/hokkaido/index.html>